

2021年4月19日

報道機関各位

NPO 法人 ETIC.

ETIC.が参画：英ユース・ビジネス・インターナショナル（YBI）主催、 Google.org 助成の新型コロナウイルス緊急対応・復興プログラム

(English press release follows after Japanese)

ETIC.はこの度、英ユース・ビジネス・インターナショナル(以下 YBI)が主導する新型コロナウイルス緊急対応・復興プログラムに参画したことをお知らせします。

本プログラムでは、新型コロナウイルス感染拡大に対応するための支援を、Google.org による助成金支援のもと、十分なサービスが受けられていない零細・中小企業に対して行います。

ETIC.は、日本における本事業の実施のため、YBI のデリバリー・パートナーとして任命されました。YBI と協力して、困難を抱える地域の企業に対する緊急支援パッケージを検討・提供していきます。

コロナ禍は、世界経済に前例のない衝撃を与えました。経営規模の小さい零細・中小企業は、景気低迷の影響を受けやすく、中でも若者(18~35 歳)、女性、難民や移住者など、十分なサービスが受けられていないコミュニティの事業者や起業家は特に深刻な状況にあります。多くの人がこの危機を乗り越えるためのサポートを必要としています。

ETIC.では、日本の総企業数の 99.7%を占め、各地の雇用を支えている存在である中小零細企業に焦点をあて、今回の緊急助成を活用します。

地方の中小企業では業種を問わず多くの事業者が経営難に陥りました。私たちの団体が、全国の 107 の NPO や中小企業を対象に実施した新型コロナウイルス感染拡大に関するアンケート調査によると(<https://www.etic.or.jp/news/2020/07/17/846.html>)、約 80%以上が事業経営にマイナス影響が発生していると回答しました。具体的には、観光客の減少による飲食店の売上ダウン、営業機会の減少・新規受注数の低下、イベント中止による注文キャンセル、イベントが開催できず売上がゼロになるなど、苦境に立たされています。

上記アンケートで得られた、今必要とされている支援内容は以下に分類されます。収益化への専門的アドバイス、新規事業や商品開発のための助言やサポート・人的支援、次の新しいアクションに向けたメンタリングの機会提供、資金調達のノウハウです。

そしてもうひとつ特筆すべき点は、今回の新型コロナウイルスの影響を契機に、前述のアンケートでは約 83%の回答者が新たなアクションに取り組もうとしていることです。しかし、多くの地方の中小企業には、現在の新型コロナウイルスによる経営への影響や経営課題に対して、解決するための人材が自社にいないのが現状です。とはいえ、経営者だけで対応することは難しいのは明白です(人材不足に関しては、新型コロナウイルスに関係なく、地域や中小企業は常に課題でした)。よって、私たちは創業時から一貫して事業者に対する人材面での支援を行ってきたため、ここに特化して以下の 2 点のプログラムを実施します。

1) 外部人材活用促進キャンペーン(200~250 事業者)

地方の中小企業で外部人材を活用して新規事業開発や、既存の事業改善を行った事例を動画にまとめ、視聴後、事業者に合わせてどのような外部人材活用が考えられるかをディスカッションする講座を開発、運用します。

事業者が新型コロナウイルスの影響で生まれた課題を乗り越えるために、新規事業開発や既存事業改善を行う際に外部人材の活用が選択肢に入り、具体的な行動に移せるようになることが目的です。

2) 地域イノベーター留学(20 事業者を公募し、1 事業者につき 3~4 名の外部人材をマッチング)

外部人材活用のイメージをつかんだ事業者と外部人材をマッチングし、オンラインでそれぞれの課題解決に向けたプロジェクトを遂行していくプログラムを実施します。本プログラムは 2010 年にスタートし、約 30 地域、270 名の外部人材が参画しました。2020 年度は完全オンラインでも実施しました。本助成を受けて、新型コロナウイルスの影響を受けている事業者に特化し、オンラインでも事業者・外部人材ともにプロジェクトを達成できるようなプログラムへ進化させていきます。

昨今の日本の社会人は、本業以外の活動(兼業・副業)に注目している人が多いです。ETIC. で運営している副業マッチングサイト「YOSOMON!」(<https://yosomon.jp/>)でも登録者が 1,000 人を超えています。彼らの目的は収入ではなく、自らのスキルや経験を活かして地域や経営者の役に立ちたい、自分のスキルを磨きたいという理由が大半です。

1)と2)を推進していくことで、新型コロナウイルスの影響を乗り越え、地方の中小企業の経営課題を解決する機会を提供することができると考えています。

新型コロナウイルス感染拡大によって、世界は急速でオンライン化に対応しましたが、日本の地方の中小企業はその対応が進んでいないのが現状です。今回 Google.org の支援を受けることで、中小企業の方々がりモートワークなど業務のオンライン化に関するアドバイスやレクチャーを受けられる機会を提供することも検討しています。

日本の中小企業が進化することによって生まれる効果は多いと感じています。オンライン対応が可能になることで、企業所在地以外に住んでいる人材でも働けるようになり、人材不足解消につながります。また、すでに働いている社員に対しても柔軟な働き方が可能になったり、働く環境が整備されることにもつながります。日本の 99.7%が中小企業であることを考えると、働き方改革にもつながると考えています。このようなビジョンを胸に、ひとつひとつ事例を積み上げていきたいと思っています。

本事業の責任者である NPO 法人 ETIC.長谷川奈月は、次のように述べています。

「今までは私たちの活動は『オンライン対応ができ、強い意志のある一部の企業』にしか届いていなかったのですが、コロナ禍で価値観が変わり、オンライン化や外部人材の活用について可能性を感じ始めている企業にもアプローチができるようになり、大変ありがたく思っています。この支援が中小企業の再生や進化につながるよう、スタッフ一同力を尽くしたいと思います。」

「この国際規模のプログラムを主導する YBI は、起業支援の経験豊富な組織によるネットワークです。ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジア太平洋地域の 32 カ国で、20 万人以上の中小企業経営者を支援し、新型コロナウイルスの影響への対応と回復を目指しています。」

YBI の CEO であるアニタ・ティッセンは、次のように述べています。

「世界は日々劇的に変化中、各地の経営者、特にサービスが十分に行き届いていないコミュニティの中小企業経営者たちにとって今回の危機による経済的影響は図り知れないものであり、この状況をとっても心苦しく思っています。」

「こうした課題に直面する中、私たちのネットワークにおける仲間が、世界中の経営者に対して迅速な対応支援を見せたことにとっても感銘を受けました。YBI は、Google.org の新たな資金提供を受けて、2020 年から 2021 年の間、この支援を維持・拡大し、20 万社以上の企業がこの危機を乗り越えるために今すぐ必要なアドバイスを受けられるように支援していきます。」

Google.org のヨーロッパ、中東、アフリカ、アジア太平洋地域担当のローワン・バーネットは、次のように述べています。

「新型コロナウイルスの感染拡大は、人命や地域社会に壊滅的な打撃を与えており、中小企業は浮揚を維持するのに苦労しながら、前例のない課題に直面しています。YBI への助成や Google の一連の取り組みや製品を通じて、最も苦境に立たされている中小企業が危機を乗り越える方法を見つけられるよう支援したいと考えています。」

注釈

NPO 法人 ETIC.について

ETIC.は、社会の未来をつくる人を育む NPO 法人です。1993 年の創業以来、私たちの手がける実践型インターンシップや起業支援プログラムへの参加を通して、1600 人以上が起業しました。これからも企業・行政・NPO といった多様なセクターを巻き込みながら、挑戦したい人を支える仕組みづくりを続けていきます。

<https://www.etic.or.jp/english/index.html>

コロナ禍における ETIC.の取り組み

<https://www.etic.or.jp/covid19>

ユース・ビジネス・インターナショナル(YBI)

YBI は 50 カ国以上の専門組織からなるグローバルネットワークで、十分なサービスを受けていない若者のアイデアをビジネスとして成功させ、雇用を創出し、コミュニティを強化するための支援を行っています。YBI のビジョンは、若者の起業家精神が持続可能な経済発展の原動力として認められ、起業を希望するすべての若者がその可能性を發揮できる世界です。YBI は、会員同士を結びつけ、専門知識を共有し、共通の課題に対する解決策について協力しています。

www.youthbusiness.org

Google.org

Google の慈善事業部門である Google.org では、人類が抱える大きな課題の解決に貢献すべく Google の強みを活かし、十分なサービスを受けていないコミュニティを支援するなどし、平等な機会を実現できるよう、資金、最新テクノロジー、技術的専門知識を複合的に提供しています。

新型コロナウイルス対応としては、パンデミックの影響を受けている人々の助けになるため、緊急的な経済援助から長期的な経済回復、そして将来への備えまで、パンデミックのすべての段階を通じて効果的な対策を展開できるよう支援しています。

<https://www.google.org/>

＜お問い合わせ＞ NPO 法人 ETIC. (エティック) 担当：長谷川
TEL : 050-1743-6743 E-mail : local-info@etic.or.jp
※リモートワーク推進中のため、Eメールでのご連絡をお願いいたします。

ETIC. (Entrepreneurial Training for Innovative Communities) JOINS YOUTH BUSINESS INTERNATIONAL'S RAPID RESPONSE AND RECOVERY PROGRAMME, FUNDED BY GOOGLE.ORG, TO SUPPORT STRUGGLING SMALL BUSINESSES DURING THE COVID-19 CRISIS

The programme, led by Youth Business International (YBI) and funded by Google.org, will support underserved micro, small and medium businesses to respond to the COVID-19 crisis.

ETIC. (Entrepreneurial Training for Innovative Communities), based in Tokyo, has been appointed as a delivery partner of YBI in Japan. It will now work with YBI to develop and deliver an urgent package of support to struggling local businesses.

The global economy is suffering from an unprecedented shock as a result of COVID-19. With typically tight margins, micro, small and medium businesses are vulnerable to economic downturn. The current pandemic is having a particularly serious impact on business owners and entrepreneurs from underserved communities, including young people (aged 18-35 years), women, and refugees and other migrants. Many are struggling to get through the crisis and need support now.

ETIC. will provide support for small and medium-sized enterprises that account for 99.7% of the total number of Japanese enterprises that are producing much employment in regions.

Many local SMEs, regardless of the industries, have suffered from financial difficulties from the outbreak of the COVID-19. According to our questionnaire survey answered by 107 non-profit organizations and SMEs from all across Japan, more than 80% of them experienced a negative impact on their businesses from the spread of new coronavirus. More specifically, they experienced decreases in restaurant sales resulting from a declined number of tourists, lost business opportunities, cancellation of events and associated loss of orders among others.

Based on the results of the above questionnaire, we identified the kind of support they need are advice from experts on monetization, advice and support for new business and product development, mentoring to start new actions, and know-hows for financing. Notably enough, 83% of the survey respondents also showed a strong willingness to take on new actions in the midst of the COVID-19 outbreak.

Many small and medium-sized enterprises in rural areas, however, lack human talents who can propose solutions to the challenges posed by the COVID-19. Shortage of human resources has always been a problem for local communities and SMEs, even before the outbreak of the new coronavirus. Before the current situation, it is more difficult than ever for many business owners to tackle the issues on their own.

Since its founding, ETIC. has provided support for many businesses in the area of talent management. Utilizing the accumulated knowledge and experiences of our own, we will implement the following two programs especially targeting businesses that are affected by the COVID-19 outbreak.

1) Awareness Raising Campaign on the use of external human talent supported with a grant from Google.org (targeting support for 200-250 businesses)

A coaching programme will be provided targeting SMEs in regional Japan, whereby participants will learn about examples of external human talent supporting new business development and improvement. They will also develop an idea how they could possibly utilize such external resources for their own businesses.

The programme will aim for informing business owners that the reception of external talent is a viable means to address challenges caused by the impact of the COVID-19 and supporting them in taking actions.

2) Local Innovator Matching Program (20 businesses will be selected; 3 to 4 external human talents are matched per business)

Business owners who wish to receive external human talent can join our matching program and start a project to solve problems associated with their businesses in collaboration with the matched personnel. This program was started in 2010; more than 270 external personnel have been matched with more than 30 regions in the past. In 2020, the program was implemented in fully virtual settings. Under the scheme of the Rapid Response and Recovery Program, we will especially focus on businesses affected by COVID-19, facilitating more opportunities for businesses to be connected online for their joint actions.

Nowadays, many Japanese working people are interested in having “side jobs” apart from their main employment. Our matching site “YOSOMON!” for side job opportunities are registered by more than 1,000 people. Their motivation is not about income, but about advancing their skills and/or contributing to local communities and businesses through utilizing their skills and experiences.

Through promoting the above activities, we believe we will be able to provide an opportunity for SMEs in regional Japan to solve their business issues and overcome the challenges of the COVID-19.

With the spread of the new coronavirus, the world has entered in a new phase of digitalization. However, many SMEs in regional Japan are falling behind this global trend. Through the support of Google.org, we are planning to provide a venue for lectures and advise on how to enable online working settings and such.

We believe that the advancement of Japanese SMEs will bring about many positive outcomes. If SMEs in regions become able to conduct their businesses virtually, many external personnel living outside of the local areas will be able to join the company and result in addressing the lack of human resources. Current employees will also benefit from flexible business settings and their work environment is expected to improve. As 99.7% of businesses in Japan are run by SMEs, it will be a significant boost to the movement in promoting better work-life balance. With such vision we are determined to create an exemplary case of matching one by one.

Natsuki Hasegawa, Program Manager of the ETIC. responsible for the programme, said:

“In the past, only companies that have already shifted to online business settings were interested in being connected with external personnel. However, many companies are starting to change their perspectives from the situations caused by the new coronavirus, and it is making it easier for us to inform them of the opportunities. We are hoping this becomes a chance to support the revitalization of SMEs in Japan and their further development.”

The global programme is led by YBI, an experienced network of enterprise support organisations. It will support over 200,000 small and medium business owners across 32 countries across Europe, the Middle East, Africa and Asia Pacific to respond to and recover from the impact of COVID-19.

Anita Tiessen, CEO of Youth Business International, said:

＜お問い合わせ＞ NPO 法人 ETIC. (エティック) 担当：長谷川
TEL : 050-1743-6743 E-mail : local-info@etic.or.jp
※リモートワーク推進中のため、Eメールでのご連絡をお願いいたします。

“The world is changing dramatically from day to day and I feel deeply for business owners everywhere, especially those running smaller businesses and are from underserved communities, who are often least able to bear the economic shocks of this crisis.

“In the face of these challenges, I have been incredibly inspired by the quick response of our network to support business owners around the world. YBI, with Google.org’s new funding commitment, will help us sustain and extend this support throughout 2020-2021, ensuring more than 200,000 businesses can get the advice they need right now to navigate this crisis.”

Rowan Barnett, Head of Google.org, EMEA & APAC, said:

“The coronavirus outbreak is taking a devastating toll on lives and communities, and small businesses are facing unprecedented challenges as they struggle to stay afloat. With this grant to Youth Business International, alongside a series of Google initiatives and products, we hope to help some of the most vulnerable small businesses find a way through the crisis.”

Notes to editors

NPO ETIC. (Entrepreneurial Training for Innovative Communities)

ETIC. aims to nurture and develop talents of entrepreneurial minds of young leaders who are determined to resolve social problems and create new value through their own intentions and actions. We contribute to scaling the impact of businesses, thereby evoking transformation of the whole society through building and improving the social ecosystem. Read more at <https://www.etic.or.jp/english/index.html>

Actions taken by ETIC. to address the impact of COVID-19 outbreak:
<https://www.etic.or.jp/covid19>

Youth Business International (YBI)

YBI is a global network of expert organisations in over 50 countries supporting underserved young people to turn their ideas into successful businesses, creating jobs and strengthening communities. Our vision is a world where youth entrepreneurship is recognised for driving sustainable economic development and all young people who want to set up a business can fulfil their potential. We connect our members to share expertise and collaborate on solutions to common challenges. Visit www.youthbusiness.org.

Google.org

Google.org, Google's philanthropy, supports nonprofits that address humanitarian issues and apply scalable, data-driven innovation to solving the world's biggest challenges. We accelerate their progress by connecting them with a unique blend of support that includes funding, products, and technical expertise from Google volunteers. We engage with these believers-turned-doers who make a significant impact on the communities they represent, and whose work has the potential to produce meaningful change. We want a world that works for everyone—and we believe technology and innovation can move the needle in four key areas: education, economic opportunity, inclusion and crisis response.